

災害時に有効な衛星通信ネットワークの研究開発

事業期間（平成24～26年度）／総事業費 未定
平成24年度予算額999百万円（平成23年度予算額0百万円）

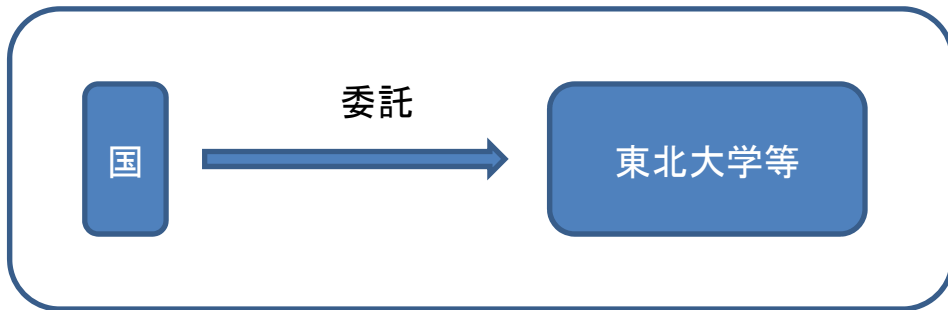
総務省情報通信国際戦略局
宇宙通信政策課
03-5253-5768

事業の内容

事業の概要・目的

- 東日本大震災においては、地上系の通信手段は甚大な被害を受けましたが、地震による影響を受けにくい衛星通信は、幅広い分野において活躍したところです。
- 現在、衛星通信は、事業者のサービスや災害対策機関別に通信方式が異なり、それぞれ専用の地球局機器が必要であることから、災害時において異なる通信方式間での地球局機器の融通ができないこと等が課題です。
- このため、通信インフラが地震・津波等で損壊した場合に、衛星通信によりニーズに応じた回線確保を円滑に図るため、一つの地球局で複数の通信方式に対応可能な技術等の研究開発を行うものです。

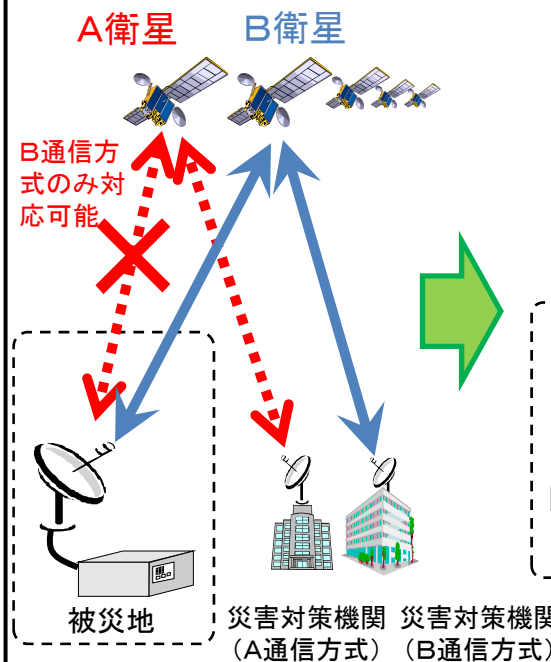
条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

現状（東日本大震災時）

事業者のサービスや災害対策機関別に通信方式が異なり、それぞれ専用のVSAT機器が必要



今 後

複数の通信方式にソフトウェアで対応可能なVSAT機器の実現

